

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28年 2月 29日

計画の名称	1 石川の歴史・文化・自然を活かし、地域活性化や豊かな暮らしを実現する公園計画											
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)			交付対象	石川県							
計画の目標	本県固有の歴史・文化や自然を活用した県営都市公園の整備と安全安心対策や施設の充実などによる利用環境の向上により、交流人口の拡大を図り、地域の活性化を促すとともに、豊かで潤いのある県民生活の実現を図る。											
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢城公園入園者数をH21年度比15万人増加 (交流人口拡大＝観光振興・都心部活性化の指標として) ・都市公園来園者満足度を90%の大台乗せ (安全安心事業等、公園の充実に対する指標として) ・重点的に整備する白山ろくテーマパーク・能登歴史公園利用者を1.5倍に増加 (新たな園地整備の指標として) 											
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考		
							当初現況値 (H21年度)	中間目標値 (H24年度)	最終目標値 (H26年度)			
① 金沢城公園における入園者数を測定する。							101万人	108万人	116万人			
② 県営公園10公園 (粟津公園、木場潟公園、松任海浜公園、手取公園、犀川緑地、奥卯辰山健民公園、北部公園、健民海浜公園、西部緑地公園、本多の森公園) の利用者に対する満足度を測定する。							87%	89%	90%超			
③ 対象2公園 (白山ろくテーマパーク、能登歴史公園) の合計入園者数を測定する。							4万人	4万人	6万人			
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,019百万円	A	1,166百万円	B	0百万円	C	853百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	42.2%		
事後評価												
○事後評価の実施体制、実施時期												
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期					
石川県において評価を実施							平成27年度					
							公表の方法 石川県のホームページで公開					
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園の整備 (新たな施設の整備) により、公園施設の充実が図られ、金沢城公園、対象2公園の入園者数については、いずれも最終目標値を超える結果となり、交流人口の拡大、地域活性化につながった。 ・都市公園の老朽化施設の改築・更新、バリアフリー化を重点的に実施したことにより、安全安心に利用できる公園施設の充実が図られ、安全安心が確保された公園を県民に提供することが可能となった。 									
II 定量的指標の達成状況		指標① (金沢城公園における入園者数)	最終目標値	116万人	目標値と実績値に差が出た要因	金沢城河北門 (H22完成)、橋爪門の復元 (H27.3月完成) および玉泉院丸庭園の整備 (H27.3月完成) により、H26末実績値は137万人と目標ある116万人を達成することできた。						
			最終実績値	137万人								
		指標② (県営公園10公園の利用者満足度)	最終目標値	90%超	目標値と実績値に差が出た要因		数値化した施設満足度の指標では、H26実績83.0%とH21実績86.5%よりわずかに低下しているものの、H26利用者アンケート調査では、「良い」または「やや良い」と記入した人の割合が94.6%を占めており、利用者満足度は高い評価を得ている。					
			最終実績値	83%								
		指標③ (対象2公園の合計入園者数)	最終目標値	6万人	目標値と実績値に差が出た要因			白山ろくテーマパークの河合・下野地区では、吉岡、吉野園地 (整備済) との一体的な整備を進めており、その効果として公園全体の魅力が高まり、入園者数が増加した要因となった。				
			最終実績値	6.4万人								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)			<ul style="list-style-type: none"> ・県営公園における老朽化施設の更新、トイレなどの公園施設のバリアフリー化を重点的に実施し、利用者サービスの向上を行った結果、県営公園 (5公園) の利用者数は、H26末実績値115万人となり、H21末実績値101万人より14万人増加した。 									
3. 特記事項 (今後の方針等)												